

資産名称 長島のハンセン病療養所群 イメージ図

数千人の人びとが生きた  
「場所の記憶」

構成要素

- I 建造物（納骨堂、監禁室、邑久長島大橋など）
- II 土地（報国農園、藪池運動場など）
- III 景観（内白間地区、木尾湾など）

参考資料

- I 歴史的記録物
- II 図面・整備履歴
- III 文芸作品
- IV 証言（映像・文字）
- V 通史  
（日本のハンセン病・隔離政策、園史、自治会史、世界の感染症・ハンセン病）
- VI 地域の歴史 など

世界の記憶候補

構成資産：長島



顕著な普遍的価値（OUV）の言明

- 構成資産（幹）に関して、
- I 6つの評価基準の一つ以上該当すること。
  - II 真実性と完全性があること。
  - III 保護と管理に必要な措置の存在。

枝葉

幹

根

（回復力）の証明  
療養所入所者の人間としての強さとレジリエンス  
国策としてのハンセン病隔離政策の歴史